

<No13 : 地形>

トータルステーション (以下「TS」という。)を用いた縮尺 1/1,000 の地形図作成において、標高 50m の基準点から、ある道路上の点 A の観測を行ったところ、高低角 30° 、斜距離 24m の観測結果が得られた。その後、点 A に TS を設置し、点 A と同じ道路上にある点 B (点 A から点 B を結ぶ道路は直線で傾斜は一定) を観測したところ、標高 56m、水平距離 18m の観測結果が得られた。

このとき、点 A から点 B を結ぶ直線道路とこれを横断する標高 60m の等高線との交点は、この地形図上で点 B から何 cm の地点か。最も近いものを次の中から選べ。

なお、関数の数値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

1. 0.2 cm
2. 0.4 cm
3. 0.6 cm
4. 1.2 cm
5. 2.4 cm

<No14 : 地形>

次の a ～ d の文は、公共測量における地形測量のうち、現地測量について述べたものである。

～ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 現地測量とは、現地においてトータルステーションなどを用いて、地形、地物等を測定し、
 を作成する作業をいう。
- b. 現地測量により作成する の地図情報レベルは、原則として 以下とする。
- c. 現地測量は、4 級基準点、 又はこれと同等以上の精度を有する基準点に基づいて実施する。
- d. 細部測量の結果に基づいて数値編集を実施後、編集で生じた疑問事項、地物の表現の誤り及び脱落、 以降に生じた変化に関する事項などを現地において確認する補備測量を行う。

	ア	イ	ウ	エ
1.	数値地形図データ	1000	簡易水準点	現地調査
2.	数値地形図データ	1000	4 級水準点	成果検定
3.	数値画像データ	1000	4 級水準点	成果検定
4.	数値地形図データ	2500	4 級水準点	現地調査
5.	数値画像データ	2500	簡易水準点	現地調査

<No15 : 地形>

次の文は、公共測量における地形測量のうち、GNSS 測量機を用いた細部測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 既知点からの視通がなくても位置を求めることができる。
2. 標高を求める場合は、ジオイド高を補正して求める。
3. 霧や弱い雨にほとんど影響されずに観測することができる。
4. ネットワーク型 RTK 法による場合は、上空視界が確保できない場所でも観測することができる。
5. ネットワーク型 RTK 法の単点観測法では、1 台の GNSS 測量機で位置を求めることができる。